

# 校長室から平成30年10月17日

今年の修学旅行 ディズニーランドで学んだ事

**私たちは「いらっしゃいませ」ではなく、ゲストの方々が返答しやすい「こんにちは」と言うようにしています  
コミュニケーションの基本は交わすものだから・・・**

長町中学校の第2学期の生活が始まりました。保護者の方々のお励まし、ご支援によって、生徒達も元気に学校に戻ってきてくれました。大変うれしく思っております。

第2学期が始まってすぐに、校長室に何名かのお客様がいらっしゃいました。皆さんすぐに私に語りかけてくれたことは、生徒達のあいさつでした。「生徒さん達のあいさつがさわやかですばらしいですね。」と褒めていただきました。私も生徒達の元気なあいさつで、心温まる気持ちになります。1年生も、4月当初は、学校生活に慣れないためか、声を出してあいさつする事をためらっていたようですが、今は大きく変化して、自ら進んであいさつする姿も目立ってきました。すばらしいと思います。たった一言発するだけでも、雰囲気も変わりますし、明るい気持ちになります。

さて、今年の5月、3年生と修学旅行で3日間生活を共にしましたが、生徒達が宿泊したディズニーリゾートホテルでの体験学習の中で、印象的な事がありました。実際にディズニーランドで働いている女性数名が生徒達に「東京ディズニーリゾートで学ぶ ～将来の自分に向けて～」という主題で、講義したり、実際に接客の体験学習を一緒に行ってくれたりしました。その中で「東京ディズニーリゾートには、たくさんのゲストが訪れ、さまざまな体験をします。ゲストに最高のハピネスをお届けするために、四つの行動基準があります。それは、あいさつ、スマイル、言葉づかい、そしてアイコンタクトです。」とても共感するものがありました。

そして、印象的だったのは、「私たちはゲストにいらっしゃいませという言葉は使わないようにしています。こんにちは、と話しかけます。いらっしゃいませだとゲストはそのまま素通りしてしまいます。でもこんにちはと語りかけると、多くのゲストに笑顔でこんにちはとお返しいただけます。お互いに声をかけ合うことからコミュニケーションが始まり、信頼関係が生まれます。私たちはあいさつをきっかけにゲストとの双方向のコミュニケーションを大切にしています。あいさつは、ただするものではなく交わすものだと思います。」一つの企業としての方針としてだけではなく、社会生活を送っていく基本だと感じました。

また、服装についてのお話では、「身だしなみとおしゃれは違います。身だしなみは相手のためにするもの、おしゃれは自分のためにするもの。私たちは相手の立場に立ち、ゲストが不愉快にならないようにディズニーリゾートに一番適した身だしなみで行動しています。」深い言葉だと思いました。

長町中学校の生活を思った時、自然にあいさつができるということは、本当にすばらしい事なのだと思います。互いにかかわりあい、信頼しあう基本として、双方向のコミュニケーションの基本として、さらに明るいあいさつを交わし合える学校でありたいですね。あいさつすることをためらっている皆さんも、思い切って声を出してみてもいいのでしょうか。そこから何かが生まれるかもしれません。そして小さくても何かが変化するかもしれません。

**笑顔であいさつを交わし合える**

**学校であり続けたいですね**